

2 令和6年観光入込客等調査結果の概要

(1) 全体概況

令和6年は、これまでからの府、各市町村、各DMO等における観光誘客促進の取組や、大河ドラマ放送を契機としたプロモーションを行ったこと、また、前年から続く円安の影響等により、国内外からの観光客が増加した。

これらの結果、令和6年の京都府観光入込客数は令和5年比で112%、観光消費額は令和5年比で124%となった。

- 令和6年の京都府観光入込客数は8,425万人（対前年比112%、令和元年比113%）
京都市を除く府域では2,819万人（対前年比113%、令和元年比135%）
- 令和6年の京都府観光消費額は2兆581億円（対前年比124%、令和元年比155%）
京都市を除く府域では1,507億円（対前年比124%、令和元年比166%）

(2) もうひとつの京都エリア別増減要因（推定）

<竹の里・乙訓エリア>

（向日市、長岡京市、大山崎町）

行・祭事等の実施、辰年にまつわる寺社や御朱印めぐり企画等に参画した寺社、美術館への来訪者の増加等により、観光入込客数は対前年比 108%、観光消費額は対前年比 103%と増加した。

<お茶の京都エリア>

（宇治市、城陽市、久御山町、八幡市、京田辺市、井手町、宇治田原町、木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村）

大河ドラマゆかりの地として注目を浴びたことや、コロナ禍で期間限定となっていた工場見学が通年での見学を再開したこと等により、観光入込客数は対前年比 122%、観光消費額は対前年比 113%と増加した。

<森の京都エリア>

（亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、福知山市）

観光列車の利用者増加や、内容を充実させた観光施設への来訪者が増加したこと、令和5年に3か月運休していた川下りが通常運行となったこと等により、観光入込客数は対前年比109%、観光消費額は対前年比121%と増加した。

<海の京都エリア>

（綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、与謝野町、伊根町、京丹後市）

自然・景勝地への来訪者が増加したこと、遊覧船の団体ツアーの増加、複合商業施設オープン等により、観光入込客数は対前年比 106%、観光消費額は対前年比 138%と増加した。